東近江市文化芸術振興計画
【概要版】

策定の趣旨

本市では、森里川湖の多様な自然環境の中で豊かな歴史文化が育まれ、市民による様々な文化芸術活動が行われています。現在の私たちの暮らしの中で、文化芸術の存在は、欠かすことのできない大切なものです。
今後の本市において、文化芸術の力をいかしたまちづくりに取り組み、市民の皆様と共に文化芸術を振興し、多様な人々が共にいきいきと暮らす、創造性のある豊かなまちの実現に向けて本計画を策定しました。

計画期間

	令和６年（2024 年）	令和７年（2025 年）	令和８年（2026 年）	令和９年（2027 年）	令和 10 年（2028 年）	令和 11 年（2029 年）	令和 12 年（2030 年）
東近江市総合計画	第２次総合計画	第２次総合計画	次期総合計画	次期総合計画	次期総合計画	次期総合計画	次期総合計画
文化芸術振興計画		前期計画	前期計画	前期計画	後期計画	後期計画	後期計画

対象とする文化芸術の範囲

文化芸術活動	芸　術	文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊その他の芸術（メディア芸術を除く。）
文化芸術活動	メディア芸術	映画・漫画・アニメーション、コンピュータ等の電子機器等を利用した芸術
文化芸術活動	伝統芸能	雅楽・能楽・文楽・歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能
文化芸術活動	芸　能	講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱その他の芸能（伝統芸能を除く。）
文化芸術活動	生活文化等	茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化、囲碁・将棋その他の国民的娯楽、出版物及びレコード
文化財等		有形及び無形の文化財並びにその保存技術
地域における文化芸術		市内各地における文化芸術の公演・展示・芸能祭等・地域固有の伝統芸能・民俗芸能

（文化芸術基本法第８条から第14条による）

今期計画期間の重点取組

主な取組2　文化芸術情報の提供

- 文化芸術のイベントや活動団体の情報、活動に利用できる施設や制度の情報が周知できていない。
- 特に、若い世代には、市の発信する文化芸術情報が届いていない。

文化芸術情報のプラットフォーム構築
- 文化芸術情報にアクセスしやすい環境を整える。
- 若い世代にも情報が届くような手法を検討する。

主な取組3　市民の創造活動の支援

- 文化団体や学校のクラブ・サークルなど、既存の枠組みで実施している市民の文化芸術活動がある。
- 既存の枠を越えて広がり、より多くの市民の関心を呼び起こし、活性化することを期待し、全市的な創造活動の支援に取り組む。

市民の全市的な創造活動への支援
- 市民楽団（八日市文化芸術会館にて活動）
  令和５年からスタートし、令和６年度も参加者を募集し、活動を発展させている。
- 市民劇団（八日市文化芸術会館にて活動）
  令和４年から毎年、市民とともに創るオリジナルミュージカルを企画、上演している。

八日市文化芸術会館 市民楽団

主な取組4　既存文化施設の担う役割の再整理

- 各文化施設に求められる役割が変化している。
  - ・体験、創造、発信、交流、多様な人々がつながる広場的な役割等のニーズ
  - ・施設によって異なる支援の在り方の検討が必要
- 次代を担う子供や若者たちが、本市で活動が継続できていない。
- 八日市文化芸術会館はじめ各文化施設の老朽化が課題となっている。

役割の再整理
- 施設ごとの役割分担整理
- 支援制度の在り方の整理

誰もが文化芸術活動を行える環境整備
- 活動面の支援
- 場の提供

文化芸術拠点施設の整備
- 将来の地域のあり方を見据えた、東近江地域圏の拠点施設としての検討

推進体制

本計画の推進に当たっては、文化芸術に親しむ機会の提供や人材育成などの文化芸術分野にとどまらず、観光、産業、福祉、教育、国際交流等と連携した取組が求められます。
文化芸術の持つ力を、まちづくりやにぎわいづくり、地域の活性化にいかしていくため、市民、文化芸術活動者・活動団体、民間団体、文化施設、教育機関等、行政など様々な活動主体がそれぞれの役割を担いながら、協働して取り組みます。

東近江市文化芸術振興計画【概要版】
令和６年(2024年)７月

発　　行：東近江市
編　　集：東近江市文化スポーツ部博物館構想推進課
〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号
電　話 0748-24-5574　ＩＰ 050-5801-0525
ＦＡＸ 0748-24-5571

目指す将来像

暮らしのそばに文化芸術があり、多様な人々が共生する東近江市

本市の文化芸術に関する現状

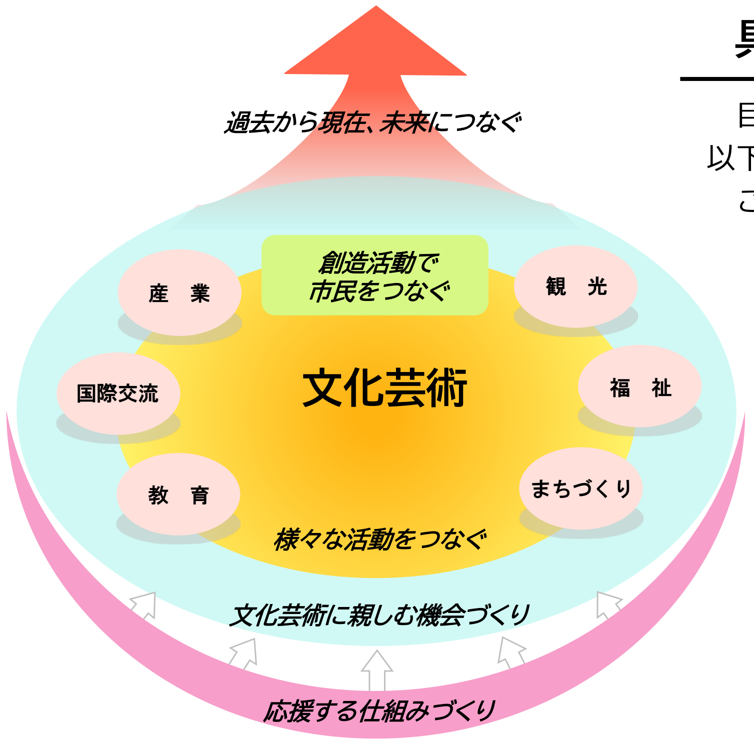
文化芸術活動

市民が主体となった文化芸術活動やイベントなど、様々な視点からの文化芸術振興に資する取組が多彩に展開されています。

また、歴史文化資源が豊富で、本市特有の民俗芸能や習俗が数多くあり、各保存団体により後世に伝えていくための保存活動が行われています。

びわこジャズ東近江

ぶらっと五個荘
まちあるきの時代絵巻行列



本市の文化芸術振興のイメージ

文化施設

- 文化ホール[八日市文化芸術会館、あかね文化ホール、てんびんの里文化学習センター、やわらぎホール]
- 地区コミュニティセンター（14館）
- 博物館・美術館（５館）
- 図書館（７館）
- その他
  野口謙蔵記念館、埋蔵文化財センター
  ことうヘムスロイド村
  近江商人屋敷（公開施設）等

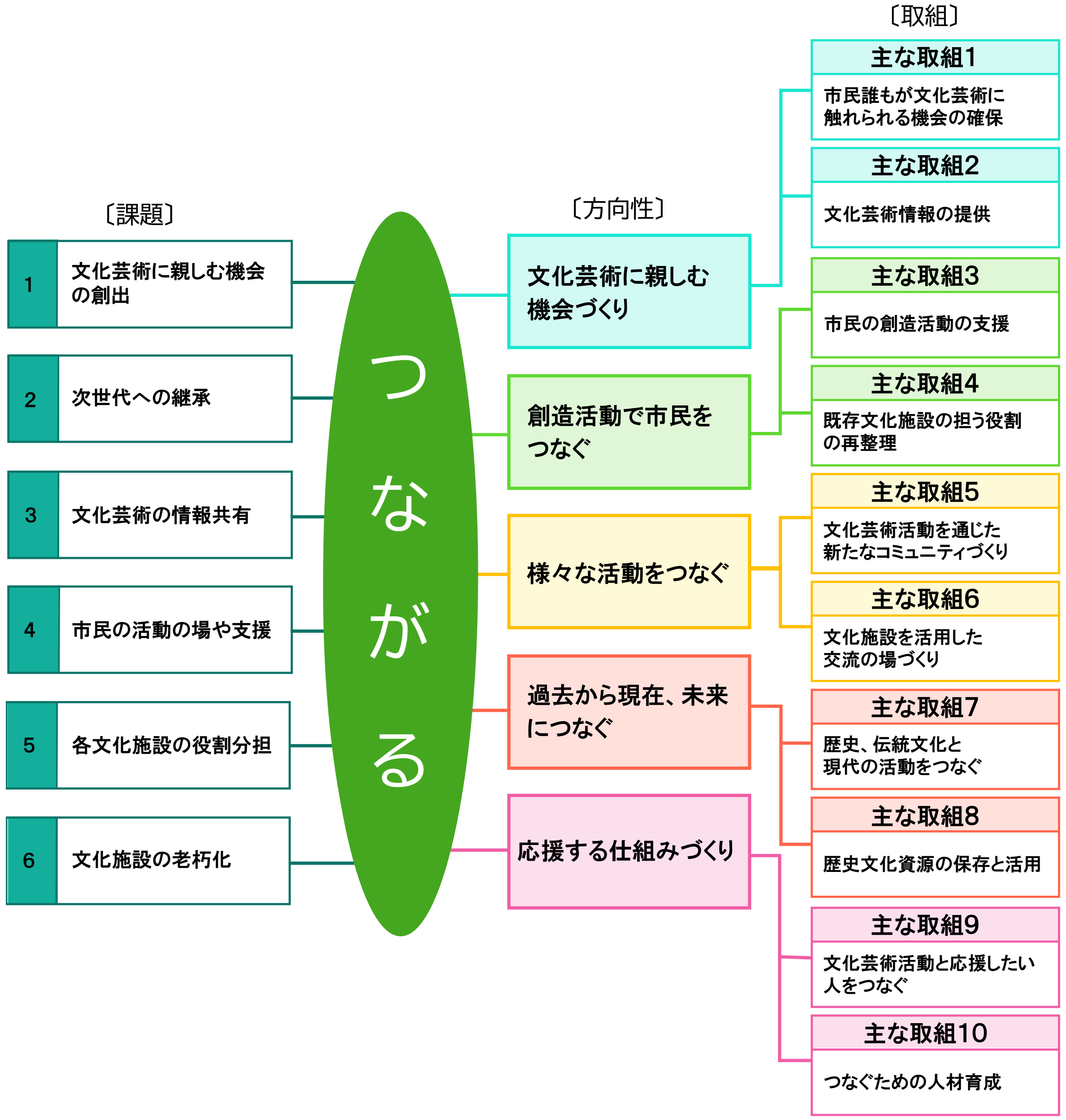
ヒアリング等市民の意見

- 文化芸術に親しむ機会が少ない。特に子ども・学生など若い世代が、文化芸術に触れる環境が少ない。
- 地区ごとの活動にとどまっているものが多い。
- 文化芸術を鑑賞するには県外へと行かざるを得ない。
- 広く情報発信できる仕組みがあるといい。定期演奏会の情報など、まず知ってもらわないとならないので、そういったことができ、また欲しい情報が得られるといい。
- 地域では、高齢化・過疎化が進んでいるので、文化芸術を通して人とコミュニケーションをとれる場所があるといい。
- 活動者の高齢化・活動者の減少（高齢者不足、指導者の不足など）

具体的な取組

目指す将来像の実現に向けて、“つながる”をキーワードとし、５つの方向性について、主な取組を以下のとおり進めていきます。

これらの取組を施策として実施する際には、対象や範囲を定めるなど、有効性を高めて実施します。



文化芸術振興の５つの方向性

■ 文化芸術に親しむ機会づくり

身近な場所で本物に触れ、体験することで興味や関心が深まり、活動の裾野が広がります。

市内の様々な文化芸術に関する情報を広く届け、生涯学習や学校教育、福祉などの関連機関と連携し、市民誰もが文化芸術に気軽に触れることのできる機会を創出します。

■ 創造活動で市民をつなぐ

市民の創造活動を始める･続けるを支援し、文化施設を創造や発表活動の場として、また、多様な人々をつなげ、交流する場として、有効に活用するために各施設の役割を再整理します。

そして、本市の文化芸術振興のために望ましい施設の在り方を検討します。

■ 様々な活動をつなぐ

文化芸術を通じて様々な活動をつなぎ、多様な人々、多様な文化、世代などがつながるきっかけを作ります。

更に、新たな地域コミュニティの形成を目指し、多文化共生の実現につなげるとともに、まちづくりの原動力としていきます。

■ 過去から現在､未来につなぐ

本市の豊かな歴史文化や伝統文化等を大切に引き継ぐために、現代の文化芸術とつなげる企画など新たな価値を創出します。

観光･産業･福祉･教育などの様々な分野との協働･連携も深め発展させるとともに、新たに生み出される文化芸術も含めて未来につなげていきます。

■ 応援する仕組みづくり

文化芸術は、活動する人だけでなく、鑑賞する人、支える人など、多くの人々が結びつくことで社会性を持ちます。

企業や地域の商店、まちづくりや観光、福祉などの各種団体、学校や文化施設など、様々な分野の人々がつながり交流しながら、多様な文化芸術活動を相互にサポートする仕組みをつくります。